

【欲しいモノだけオーダーできる魔法の言葉】

体は食べたもので作られる。

心は聞いた言葉でつくられる。そして未来は話した言葉でつくられる。

そうか！そうだったのか！じゃあいい言葉だけを話せば良い未来しか来ないんだ！

僕はそれを信じて働いてきました。

でもうまくいかなかったんです。

「いつだって俺はできる！俺は絶対成功できる！」って言ってきたのに。

全然うまくいかないんです。

「なんや、こんなんウソやん」そう思っていました。

でも違ったんです。僕は大きな落とし穴に陥っていたんです。

それは、2つのオーダーをしていたこと。

どういうことかという、と、「俺は絶対成功する！」って言葉の後に「多分無理だろうなあ」とか、「俺は絶対うまくいく！」って言いながら、「でも、うまくいかないだろうなあ」って心でつぶやいていました。

つまり僕は、ポジティブとネガティブの2つのオーダーをしていたんです。

だから、うまくいってると思えたり、うまくいってると思えなかったり、どちらも引き寄せていました。

それほど言葉や想念というのは未来をつくるチカラを持っているということです。

でも僕はついに発見したんです。

このポジティブとネガティブの2つをコントロールする技術を。

それが「というのはウッソー」という魔法の言葉です。

使い方は超簡単！例えば「ダイエットするぞー！」って目標を掲げたすぐ後に「でも無理かも？」ってネガティブな思いが出たその時です！

「というのはウッソー」って呟くだけでいいんです。

電車の中や会議中で声が出せない時は心で唱えるようにしてくださいね。

アクシデントになる可能性がありますから。

ではなぜこの言葉が有効か。

それには3つの理由があります。

まず1つめはキャンセル機能です。

例えばレストランに行って、「エビフライ」って注文した後に、「あっ！やっぱり食べたいのはハンバーグ」と思ったらエビフライをキャンセルしないと、テーブルに届くのはエビフライとハンバーグの2つですよ。

つまりそれをいつも僕は注文していたんです。

「成功するぞ」という思いと、「でも無理かも？」という思いの両方がテーブルに来ていました。

でもネガティブをキャンセルすることができるのが「というのはウツソー」なんです。

あの心理学者であるジムクントフロイトは、意識の重要性にいち早く着目したことで有名です。

心理学のことなんかさっぱりわからない人でもフロイトの名前ぐらいは聞いたことがある人が多いのではないのでしょうか。

フロイトは私達の意識は二重構造になっていると提唱しています。

まず、顕在意識といって意識的に考えたり、感じたり、行動している部分が約3パーセントだと言われています。

残りの約97パーセントが実は「無意識」に活動をしていて、私達の心臓をドクドク動かしてくれたり、髪の毛を伸ばしたり、消化器官を動かして、生命を維持する活動をしてれています。

それが顕在意識より、はるかに大きいと言われる「潜在意識」という意識です。

そんな圧倒的パワーのある潜在意識に一番強く届くのが話した言葉の一番最後のワンフレーズなんです。

もっと言うと潜在意識は「現実」か「バーチャル」かの区別がありません。そう、ないんです。

最初はハッターリでも構いません。「というのはうっそー」って演じているうちに現実になっていくんです。

【潜在意識最高～】

2つめは、言葉のエネルギーが水に大きく影響を与えているということ。

人間は約70パーセントが水でできています。

良い言葉と悪い言葉が水に影響するといった、いくつかの実験により導き出された統計データが世界になんと75ヶ国もあるそうです。

また関連した本も出版されていて、250万部を突破しています。

2014年ノーベル賞を受賞者でもあるフランスの博士が【水によるDNA情報の記憶実験】によっても明らかにしています。

また、アファメーションといって、言葉は潜在意識をプログラミングするのに有効だと多くの成功者が提唱しています。

【どうせ無理】とか【できない】などネガティブな言葉は思考は悲観的で、行動も消極的になっていきます。

一方、【大丈夫】【できる】【面白い】などポジティブな言葉は、思考は楽天的で行動も積極的になるので、良い結果も出やすいのです。

【言葉のエネルギー最高～】

3つ目は、

僕自身の実体験です。僕が脱サラをして、運良く2年で4つの飲食店をオープンすることができました。

しかし、経営が不振になり始めた頃から、僕自身が「きつとうまくいく」と「もうだめだ?」といった2つのオーダーをし続けていました。

その結果、4つあった飲食店は1店舗になり、数千万の借金、スタッフ全員の離職、そして離婚、ついに家まで無くしてしまい、『ホームレス社長』になりました。

お店のシンクで毎日髪の毛を洗って、お店にあるタタミ一畳ぐらいの更衣室で寝るといった生活になりました。

そこで除夜の鐘を二回聞くといいレアな体験もさせていただきました。

この頃は毎日本当に悔しい〜って思いで充満していました。

でも僕は「というのうっそー」と出会い、これを使ったことで、意識が変わり、行動が変わり始めたんです。

それから2年、今では何人ものスタッフさんが笑顔になり、「ここで働いていて嬉しいです」と言われるようにもなりました。

さらに業績も上がったんです。

そして、今まで思いもしなかったセミナー業も始めることができ、何より、何より素晴らしい仲間に出会うことができました。

毎日ハッピーなんです。

ほら、なんとな〜く見たら分かるでしょ？

悲観的な言葉を最後にオーダーしてしまう人は思考も行動も消極的な人生を歩むことになってしまいます。

ついネガティブなオーダーをしてしまう人ももう大丈夫。

この魔法の言葉さえあれば現実を変えていくことができます。

私はネガティブではないというあなたにも非常に関係がある話なんです。

だって未来は何が起こるか誰にも分からないからです。

もしこの先の人生で転んだとしても、早く立ち直ることができるのが言葉の力なんです。

さらに言葉は明るくしてくれます。

本当に欲しいモノだけが手に入る魔法の言葉。それが「というのはウッソー」

今日はありがとうございました。